文芸コーナー

菊水短歌会

九十余年生きたる無意味こととこと
わが体内に眠らざる臓
東　左千子

保育園発表会に三歳の
自己紹介になみだのにじむ
池田たかお

青空に浮きてしろじろ万朶の桜
平成の尽を愛しみて散る
坂口志げ子

亡夫からの力貰いて草をとる
澄みたる空はあなたの心
石山　幸子

久びさに甥夫婦の泊り客
存在うれしビジネスホテル
阪野　章子

開花まつつぼみの如く頬染めて
小学課程終えし女孫よ
荒木　智子

いきなりにばあばあの声で走りこむ
予想外の曽孫の来訪
坂本　竹子

かなしき原俳句会

原爆のドーム見上げる花の冷え　淑
田蛙の直に出番と鳴き出せる　誠一
一年（ひととせ）の夢を託せる苗代田　良一
頑（かたく）なな心解けゆく若葉風　貞子
初夏や移住の覚悟新たにす　明
黄牡丹の大一輪の夕べかな　しん子
満々の春の月あり御世替はる　淑乃
放棄の地甦（よみがえ）るなり花茨　康子
朝風のほどいてゆける牡丹の香　弘子

菊水俳句会

こいのぼり元気におよげ令和の世　原　かよ子
子供の日案内うけしバーベキュウ　池田　松子
知らぬ人ふえし古里梅（うめ）は実（み）に　中山ミサト
空広きここを都（みやこ）と夏燕　宮中　康雄
芍薬（しゃくやく）の開き始むる日の出かな　池田　紘彦

肥後狂句

五月晴れ　即位の陛下沸く日本　瀬上　歌子
五月晴れ　緋鯉に真鯉貸切って　後藤　撫子
五月晴れ　新緑映えて鯉泳ぐ　池田　茜
しちくどか　飲むと本音がひっとでて　福永すみれ
しちくどか　連れ添う媽はそれ以上　二瀬　桔梗
やめなっせ　田舎は車手離せん　石原かわせみ
やめなっせ　政治のウソと忖度も　高木せいや
やめなっせ　たばこに命縮められ　井上りんどう
やめなっせ　失言で済むこつじゃ無ァ　庄山　道草

人権の窓 30

「もっと学んでみたい」

和水町人権教育指導員　緒方　正雄
問 中央公民館　☎0968・86・2022

和水町では職員の人権に関する意識を高め、職務を通じて差別のない明るい街づくりの実現を目指して、人権教育指導者研修会を毎年実施しています。一昨年は、「どうしてそこに部落はあると思いますか」というタイトルで、部落問題学習を行いました。

研修資料は、一九八〇年、長野県で発見された江戸時代の被差別部落（以後、部落と記載）の人々の暮らしを書き記した古文書（こもんじょ）を現代文に訳したものでした。

資料の内容は、①部落の人々が他の村に移動するためには村の名主（庄屋）や村役人たちの身元保証が必要であったこと。②部落の人々は、村人の治安を守るために、他の村から要請を受け、警護の仕事をしていたこと。③部落の人々に住んでもらうために、村人は藩の許可をもらい、土地も家も準備していたこと。さらに、家の土地にかかる税は村人が支払っていたこと。④部落の人々は、村人の安全を守るため命がけで警護に当たり、けがをした場合、藩が治療や生活費の保証をしていたことなどが書かれていました。

班別学習で、参加者が資料から分かることを出し合いながら、発表し合う参加体験型学習で行いました。

職員からは、「これまですごく貧しい生活をさせられ、村人から雑な扱いをされていたと思っていたが、今回の古文書を読んで、村の警備という重要な仕事をしていたり、村人が、家、食べ物を提供していたりと、全然違っていた。部落の人々は感謝されてもいいようなことをされていたんだなと知ることができて、大変ためになる研修でした」「今までは、身分が低いと差別されている人だとしか認識していませんでした。与えられた仕事や役割を知り、村人を支える立場であったことが分かりました。『感謝されることはあっても差別されるいわれはない』という、差別を受けている方々の言葉が胸に残りました。歴史を正しく学んでいくことが差別の解消につながるので、新しく記述された教科書で学ぶ子どもたちだけでなく、大人も認識を改めていかなければならないと感じました」

とあるように、「これまでの部落の人々に対する認識が変わった」「もっと学んでみたい」というような感想がたくさん寄せられました。

図書室本紹介

中央公民館 図書室だより

健康でいるためには…長生きするためには…報道などでも、さまざまな健康法が取り上げられています。その中でも、やはり食事は必要不可欠ですよね。

今月は、「長生き」をキーワードに選書しました。しっかり食べて、体を作って、暑いといわれる今年の夏も元気に乗り切っていきましょう‼

医者が考案した『長生きみそ汁』

著者：小林（こばやし）　弘幸（ひろゆき）　株式会社：アスコム

自律神経研究の第一人者が、試行錯誤の末たどり着いたスーパーフード『長生きみそ汁』。慢性疲労が改善する、老化のスピードを抑える、血液がサラサラになるなどの健康効果が期待できる『長生きみそ汁』。試してみませんか？

元気で長生きしてほしいから 親が喜ぶ作りおきごはん

著者：今泉（いまいずみ）　久美（くみ）　株式会社：主婦（しゅふ）の友社（ともしゃ）

高齢者向けのレシピ本ですが、子どもたちにも食べさせたいメニューも満載です。おまけに、すべて塩分控えめでからだにやさしいものばかりです。

この機会に、日頃の食事を見直してみませんか？

リサイクルプラザつうしん

6月リサイクル体験受講者募集

申込先：クリーンパークファイブ
住　所：玉名郡長洲町大字名石浜４２番地１
☎　0968・78・4433

日	とき	講座名	講師名	募集人員	募集期間	準備するもの
12日(水)	午後1時30分～午後3時	EM菌発酵液作り	職　員	10人	電話受付：3日(月)午前9時～7日(金)正午 希望者多数の場合の抽選日：10日(月)午後1時30分	①2Lのペットボトル ②エプロン ③手拭きタオル

受付方法　電話で受け付けを行い、受講希望者が多い場合は抽選となります。
その場合は、電話で連絡しますので必ず受付時、連絡の取れる電話番号をお願いします。
お気軽にお申し込みください。